

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月23日

上場取引所 東

上場会社名 太洋工業株式会社

コード番号 6663

URL <http://www.taiyo-xelcom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 美則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営企画部長 (氏名) 阪口 豊彦

TEL 073-431-6311

四半期報告書提出予定日 平成26年5月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成25年12月21日～平成26年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	986	27.5	4	—	18	—	7	—
25年12月期第1四半期	774	△21.4	△144	—	△136	—	△139	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △13百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △99百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	1.27	—
25年12月期第1四半期	△23.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	4,960	3,123	62.8
25年12月期	4,991	3,154	63.0

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 3,114百万円 25年12月期 3,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成25年12月21日～平成26年12月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,343	25.6	△5	—	△7	—	△28	—	△4.83
通期	4,833	25.5	54	—	50	—	17	—	2.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	5,850,000 株	25年12月期	5,850,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年12月期1Q	144 株	25年12月期	144 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	5,849,856 株	25年12月期1Q	5,849,921 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、政府及び日銀の経済・金融政策から企業収益や個人消費が改善し、緩やかな景気回復基調で推移した一方、欧州等経済の不確実性や消費増税に伴う駆け込み需要に伴う反動等、景気下振れリスクが依然として強く本格的な経済回復には至りませんでした。

当社グループが属する電子基板業界は、自動車販売やその他関連分野向けの需要が引き続き底堅く推移した一方、薄型テレビの高画質・高品質モデルへの買い替え需要が市場規模の再拡大には至らず、厳しい状況が続きました。また、収益面においては、世界的需要が高水準で推移しているスマートフォン、タブレット端末において新興国企業の台頭が更なる競争激化を生み出していることから、取り巻く環境は厳しいものとなりました。

このような経済環境の下、当社グループの主力事業である電子基板事業においては、セットメーカー向け及びFPCメーカー向けの売上がともに増加いたしました。基板検査機事業においては、通電検査機の売上が増加いたしました。これらの結果、連結売上高は986百万円（前年同四半期比27.5%増）と、前年同四半期連結累計期間に比べ212百万円の増収となりました。

損益については、売上高材料費率の上昇等による利益減少要因はあったものの、売上高増加に伴う影響により売上総利益率が上昇したこと等から、営業利益4百万円（前年同四半期は144百万円の営業損失）、経常利益18百万円（同136百万円の経常損失）、四半期純利益7百万円（同139百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(電子基板事業)

スマートフォンやタブレット端末を中心とした市場が好調を維持し、デジタル一眼レフカメラなど高機能モデルの開発が活発に行われたこと等を背景として、量産案件も含めた受注活動を積極的に推進したことから、セットメーカー向け及びFPCメーカー向けの売上はともに増加いたしました。損益については、売上高材料費率の上昇等による利益減少要因はあったものの、売上高増加に伴う影響等により、増益となりました。

その結果、売上高662百万円（前年同四半期比25.0%増）、セグメント利益118百万円（同182.7%増）となりました。

(基板検査機事業)

自動車のエレクトロニクス化の進展に伴い、高い信頼性が要求される車載用基板対応の通電検査機の受注があったこと等から、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響等により、損失が縮小いたしました。

その結果、売上高131百万円（前年同四半期比82.8%増）、セグメント損失8百万円（前年同四半期は28百万円のセグメント損失）となりました。

(検査システム事業)

内需の底堅さや輸出環境の改善を背景として設備投資に持ち直しの動きがみられ、視覚検査装置等の受注が増加したことから、売上高が増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響等により、黒字転換いたしました。

その結果、売上高81百万円（前年同四半期比1,151.2%増）、セグメント利益29百万円（前年同四半期は18百万円のセグメント損失）となりました。

(鏡面研磨機事業)

研磨に使用する消耗品等の売上は増加したものの、機械の売上がなかったことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響等により、損失が拡大いたしました。

その結果、売上高13百万円（前年同四半期比80.5%減）、セグメント損失13百万円（前年同四半期は5百万円のセグメント損失）となりました。

(その他)

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業及びエレクトロフォーミング事業で構成されております。主として商社事業において中国市場での電子基板等の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響等により、損失が縮小いたしました。

その結果、売上高98百万円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント損失15百万円（前年同四半期は18百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、2,166百万円となりました。これは主として、売上債権が増加した一方、現金及び預金並びにたな卸資産が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、2,793百万円となりました。これは主として、その他有形固定資産が増加した一方、有形固定資産の減価償却により減少したものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、936百万円となりました。これは主として、夏季の賞与引当金を計上したことにより増加した一方、仕入債務が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、899百万円となりました。これは主として、資金需要に対応するため長期借入れを行ったことにより増加したものであります。

(純資産)

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ30百万円減少し、3,123百万円となりました。これは主として、投資有価証券の時価が下落したことによりその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

電子基板事業においては、試作・短納期製造で培った技術力及びワンストップ生産体制を最大限に活かすことで、顧客ニーズに対応した高難度製品の受注体制を強化してまいります。また、電子基板の量産や様々な電子機器の包括的な案件の受注活動を積極的に推進してまいります。基板検査機事業においては、アジア地域を中心とした市場に、顧客の潜在ニーズを捉え、コストパフォーマンスに優れた競争力のある製品を積極的に投入し、消耗品である治具の販売ビジネスとのシナジー効果を最大化することで、受注の獲得を目指してまいります。

以上のことから、前期と比較して売上高については増収、また、売上総利益率の改善に取り組むことや徹底したコスト管理を継続し、損益については黒字転換を見込んでおります。

なお、平成26年12月期の業績予想については、平成26年1月31日発表の「平成25年12月期決算短信」からの変更はありません。今後、重要な変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	910,776	838,009
受取手形及び売掛金	758,009	865,711
商品及び製品	120,710	130,474
仕掛品	230,657	192,112
原材料及び貯蔵品	75,444	73,168
その他	83,259	74,400
貸倒引当金	△6,378	△7,222
流動資産合計	2,172,479	2,166,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	521,921	507,498
機械装置及び運搬具(純額)	200,684	182,371
土地	1,453,498	1,452,568
その他(純額)	15,692	38,624
有形固定資産合計	2,191,796	2,181,062
無形固定資産		
その他	5,232	9,610
無形固定資産合計	5,232	9,610
投資その他の資産		
その他	629,934	611,134
貸倒引当金	△8,416	△8,416
投資その他の資産合計	621,518	602,718
固定資産合計	2,818,547	2,793,391
資産合計	4,991,027	4,960,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	184,184	148,422
短期借入金	503,099	495,507
未払法人税等	8,820	6,484
賞与引当金	—	28,146
製品保証引当金	960	1,146
その他	264,013	256,734
流動負債合計	961,076	936,440
固定負債		
長期借入金	318,270	345,168
長期末払金	126,200	113,727
退職給付引当金	274,557	282,514
役員退職慰労引当金	149,455	151,667
資産除去債務	6,787	6,807
固定負債合計	875,271	899,885
負債合計	1,836,348	1,836,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,255	793,255
資本剰余金	916,555	916,555
利益剰余金	1,379,763	1,369,655
自己株式	△26	△26
株主資本合計	3,089,546	3,079,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,558	12,422
為替換算調整勘定	23,730	22,687
その他の包括利益累計額合計	54,289	35,110
少数株主持分	10,842	9,173
純資産合計	3,154,678	3,123,722
負債純資産合計	4,991,027	4,960,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年3月20日)
売上高	774,120	986,973
売上原価	601,140	681,387
売上総利益	172,979	305,586
販売費及び一般管理費	317,515	301,186
営業利益又は営業損失(△)	△144,535	4,399
営業外収益		
受取利息	153	184
受取配当金	1	3
投資事業組合運用益	—	13,131
助成金収入	7,581	184
作業くず売却益	2,093	1,065
その他	6,127	5,220
営業外収益合計	15,957	19,788
営業外費用		
支払利息	2,611	2,779
債権売却損	1,025	1,559
投資事業組合運用損	1,117	—
為替差損	2,757	336
その他	626	718
営業外費用合計	8,139	5,393
経常利益又は経常損失(△)	△136,717	18,794
特別利益		
投資有価証券売却益	9	6,804
特別利益合計	9	6,804
特別損失		
減損損失	180	8,460
会員権評価損	—	6,246
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	180	14,706
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△136,888	10,892
法人税等	9,147	4,909
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△146,035	5,983
少数株主損失(△)	△6,261	△1,457
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139,773	7,441

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年3月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△146,035	5,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,758	△18,136
為替換算調整勘定	9,272	△1,253
その他の包括利益合計	47,030	△19,390
四半期包括利益	△99,004	△13,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,691	△11,737
少数株主に係る四半期包括利益	△3,313	△1,668

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年12月21日 至 平成25年3月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子基板 事業	基板検査 機事業	検査シス テム事業	鏡面研磨 機事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	529,824	71,968	6,520	68,809	677,122	96,997	774,120	—	774,120
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	73	37,966	—	—	38,039	9,732	47,772	△47,772	—
計	529,897	109,934	6,520	68,809	715,162	106,730	821,892	△47,772	774,120
セグメント利益 又は損失(△)	41,898	△28,279	△18,937	△5,786	△11,104	△18,557	△29,662	△114,873	△144,535

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業及びエレクトロフォーミング事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,873千円には、セグメント間取引消去256千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115,129千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年12月21日 至 平成26年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子基板 事業	基板検査 機事業	検査シス テム事業	鏡面研磨 機事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	662,385	131,524	81,581	13,431	888,921	98,051	986,973	—	986,973
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	35,626	49,000	—	—	84,627	21,840	106,467	△106,467	—
計	698,011	180,525	81,581	13,431	973,549	119,891	1,093,441	△106,467	986,973
セグメント利益 又は損失(△)	118,454	△8,723	29,857	△13,193	126,394	△15,049	111,345	△106,945	4,399

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業及びエレクトロフォーミング事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,945千円には、セグメント間取引消去6,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△113,345千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、事業再編に伴う管理区分の変更により、従来「電子基板事業」に含めていたメカトロニクス部門を、「基板検査機事業」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。